

東大阪市と株式会社ダイオオースジャパンとの循環型社会の形成に関する連携協定書

東大阪市（以下「甲」という。）と株式会社ダイオオースジャパン（以下「乙」という。）は、東大阪市内（以下「市内」という。）においてマイボトル等を利用できる環境を整備し、東大阪市プラスチックごみゼロにトライ！宣言の主旨である、ペットボトル等の使い捨てプラスチックの使用削減を推進するために、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲と乙が緊密な相互連携を図り、双方の資源を活用した事業に協働で取り組むことにより、市内でマイボトル等を利用できる環境を整備し、ペットボトル等の使い捨てプラスチックの使用削減などを通じて、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、相互に情報及び意見の交換に努めるとともに、次に掲げる事項について連携及び協力する。

- (1) ペットボトル等の使い捨てプラスチックの使用削減にかかる積極的な啓発に関すること
  - (2) 甲の施設や市内への給水機の設置拡大に関すること
  - (3) 給水機の設置拡大にかかる広報等の支援に関すること
  - (4) 乙による、甲主催イベント等における、使い捨てプラスチック使用削減をはじめとした環境に関する啓発等の施策への協力に関すること
  - (5) その他、本協定の目的に沿うこと
- 2 前項各号に定める事項を効果的に推進するため、甲と乙は定期的に協議を行うものとし、具体的な取組み内容は協議の上、決定するものとする。

（守秘義務）

- 第3条 甲と乙は、前条の連携及び協力に基づき活動において知り得た相手方の秘密情報について、事前に相手方の書面による承諾を得ずに第三者に開示・漏洩してはならない。
- 2 甲と乙は、本協定が理由の如何を問わず終了した後も、前項に定める秘密保持の責務を負うものとする。

（有効期間）

第4条 本協定の有効期間は、協定締結の日から令和5年3月31日とする。ただし、有効期間満了の1ヶ月前までに、甲及び乙のいずれかが書面をもって協定終了の意思表示をしたときは、満了日の翌日から1年間継続するものとし、その後も同様とする。

（協定の見直し）

第5条 甲又は乙のいずれかが、協定内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（協定の解除）

第6条 甲又は乙のいずれかが本協定の解除を希望する場合は、甲乙協議の上、解除予定日の1ヶ月前までに書面により相手方に通知することにより、本協定を解除できるものとする。甲又は乙は、相手方に対して、本協定の解除に関して、何らの損害の賠償を求めめることはできない。

（反社会的勢力への対応に関する特則）

第7条 甲と乙は、反社会的勢力（暴行、傷害、脅迫、恐喝、威圧等の暴力的行為又は詐欺的手法を用いて経済的利益を追求する集団又は個人などを含む。）と関係を持たないことを表明し保証する。

- 2 甲と乙は、相手方に対して、次の各号のいずれかが該当する行為を行ってはならない。
  - (1) 脅迫的、暴力的又は法的な責任を超えた要求
  - (2) 風説を流布し、偽計を用い、又は威力を用いた信用毀損又は業務妨害
  - (3) その他前各号に類似するいかなる行為
- 3 甲と乙は、相手方が前項各号のいずれかの行為を行った場合、当該相手方に対して何らかの通知をすることなく本協定を解除することができる。

（疑義の決定）

第8条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関して疑義が生じたときは、甲乙誠意を持って協議の上、決定するものとする。

本協定の成立を証するため、本書2通を作成し、代表者の署名のうえ、各自その1通を所持する。

令和4年5月20日

甲 大阪府東大阪市荒本北一丁目1番1号

東大阪市

代表者 東大阪市長



乙 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号

丸の内ナビアタワー14階

株式会社ダイオオースジャパン

代表取締役社長

